

東邦医学会雑誌投稿規定

(2006. 4. 11改訂)

I. 投稿の制限と投稿原稿の種類, 倫理

- 1) 本誌の投稿は, 本会会員に限る.
- 2) 原稿は創意に富んだもので, 他の学術誌に掲載されたことのないものに限る.
- 3) 原稿は次の4群のいずれをも受付ける.
 - (1) 原著論文, 症例, 資料, 短報, 総説
 - (2) 本学を中心として行われる特別講演, 臨床講義, 学会, シンポジウム, トピックスなどのうち特色あると思われるもの
 - (3) 東邦医学会総会・例会記事
 - (4) 留学記, 学会参加記, 教室紹介
- 4) 臨床研究を論文として投稿する際は, 特に患者の人権を損なうことのないようにインフォームド・コンセントを得るなど, 十分配慮する. 動物実験の場合も, 動物の維持・管理や, 実験操作に伴う疼痛の緩和に配慮する.

II. 助成・提供

助成金・装置・薬剤など援助・提供を受けた場合は, その旨と出所を謝辞へ記載する.

III. 著作権の委譲

論文受理後, 一切の著作権は東邦大学医学会が保有する. 著者はその一部もしくは全部を転載するときは, 前もって東邦大学医学会の承認を得なければならない.

IV. 掲載料・発行日

編集部が依頼した企画以外については, 掲載料としてすべて実費を申受ける (詳細は問合わせること).

発行日は, 年6回奇数月とする. 原稿の採否, 掲載順, 印刷時の様式などは最終的に編集委員会において決定する. 受理された論文は原則として受付順に掲載する. ただし, 至急掲載 (有料) を希望する場合は, その限りではない.

V. 原稿の提出

原稿は紙原稿3部と, パソコンで作成の場合はメディア (FD, CD-R など) に保存した原稿データを, 投稿申込書, 誓約書, チェックリストとともに提出する. 画像・写真等を紙焼写真で提出する場合データでの提出は省略可.

VI. 投稿～掲載の流れ

1) 原稿受付と査読

申込受付された論文は, 編集委員会が決定した2人の査読者と統計査読者によって審査・査読される. 2人の査読者の間で判定が分かれたときは, 新たに第3査読者が決定され審査が行われる. なお, 査読者の氏名などは公表しない.

2) 訂正原稿, 再審査

査読後, 編集部より著者へ査読結果と原稿を送付する. 訂正後再審査となった原稿は, 原稿発送日より3カ月以内に, 旧原稿, 訂正原稿, 訂正箇所を記した査読者への回答をそえて再提出する.

3) 最終原稿の提出, 校正, 掲載

査読完了後, 著者は最終原稿として紙原稿と原稿データを提出する. 編集委員会で掲載承認されたのち, 印刷に入る. 発刊前に掲載証明書・別刷を希望する場合は, 事前に申し出ること.

編集部より最終原稿と初校ゲラを著者に送付, 著者はすみやかに校正して, 編集部に戻送する. 著者校正は原則として初校ゲラのみなので, 注意する (責任校了).

VII. 和文論文投稿規定

1) 一般的注意

投稿様式は次のとおりとする.

- ・ A4用紙の片面に十分な余白(2.5cm程度)を取って行間をダブルスペースにし, ページ数を入れて作成する.
- ・ 外国語: 原語で記載する. 細菌・植物などの学名・属名はイタリック体で表記する.
- ・ 薬品名: 一般名は英文表記とする. 文中で省略語を用いる場合は, 初回のみスペルアウトし, 2回目以降は省略語とする. 商品名は, 頭文字を大文字にする. またはカタカナ表記でもよい. 省略語は一般名に準じる.
- ・ 数字はアラビア数字および半角数字を用いる.
- ・ 単位は原則として国際単位系 (SI) の略号を用いる. 特殊な単位を用いる場合には説明をつける.

記載例

長さ…………… nm, μ m, mm, cm, m, km

重さ…………… μ g, mg, g, kg

容量 …………… μ l, ml, dl, l
 その他 …………… $^{\circ}$ C, % など

2) 原稿様式の詳細 (下記の項目順にそれぞれページを分けて作成する)。

(1) 表題 (タイトル), 著者名, 所属名, ランニングタイトル, Corresponding Author

- ・このページを1ページとする。
- ・タイトル: 論文の内容を適確に表すこと。
- ・ランニングタイトル: 奇数ページ頭部分の簡略タイトルで, 20字以内とする。
- ・Corresponding Author*の名前, 所属名, 連絡先電話番号, fax番号, e-mailアドレス。*役割として, 原稿の校正 (final proof) を確認する, 投稿における原稿提出から出版に関わるすべての連絡窓口となる。

(2) 和文要約および索引用語, 脚注として所属所在地

- ・和文要約: 400字内外。原著論文は構造化抄録として, 背景または目的, 対象および方法, 結果, 結論の順序で見出しをつける。
- ・省略語: 初回のみ「acetylcholine (Ach)」とし, 2回目以降は省略語「Ach」を用いる。
- ・索引用語および脚注: タイトルを補って内容を十分に表す用語を5語まで選び, 記載する。脚注として, 著者全員の所属所在地を記載する。

(3) 本文

- ・項目: 序文 (緒言), 材料 (対象) と方法, 成績 (結果), 考察, まとめ (結語) と分け, 序文 (緒言) 以外は見出しをつける。
- ・序文 (緒言): 1枚程度で目的および背景を簡潔にまとめる。
- ・成績 (結果), 考察: 項目を分けて番号, 見出しをつけるなど, 読みやすくする。
- ・省略語: 要約と同じく, 2回目より略語のみを用いる。
- ・用いられた統計学的処理の方法について記載する。

(4) 文献

- ・主要なものに限定し, 本文最後に一括して引用順に配列した文献表を記載する。本文中の引用部分に数字番号を小文字で肩書し, 2つ以上の引用は「1-5」, 「1, 3, 5」などとする。
- ・論文名は略さず記号や略語に至るまでオリジナルどおりに記載する。
- ・著者名: 4人以上の場合は, 3人まで記載し, 残りは「ほか」「et al.」と記載する。
- ・誌名の省略: 雑誌名の省略は, List of serials indexed

for online users/PubMed, 医学中央雑誌・収載誌目録に従う。

記載例

- 1) Thomas MA, Grand MG, Williams DF, et al: Surgical management of subfoveal choroidal neovascularization. *Ophthalmology* **99**: 952-968, 1992
- 2) 中村道子, 片桐直之, 辻野尚久, ほか: Wilson 病の精神症状, 4症例の長期経過. 東邦医学会誌 **52**: 472-478, 2005
- 3) 杉山 隆: 産褥時の管理, 妊娠と糖尿病—診療スタンダード (藤田富雄, 豊田長康編) p183-189. 金芳堂, 京都, 2002
- 4) Hino A, Takemoto S, Veda S, et al: Cerebral hemodynamics and oxygen metabolism during and after delayed vasospasm. Findlay JM (Ed) *Developments in Neurology* (8) *Cerebral Vasospasm* p59-62. Elsevier, New York, 1993

(5) 英文タイトル, 英文著者名, 英文所属名, 英文アブストラクト, keywords, 脚注 (所属所在地の英文表記)

和文要約に対応させ, 以下の項目順に記載する。

- ・英文タイトル, 英文氏名 (名姓の順), 英文所属名
- ・英文要約 (Abstract): 300words内外。原著論文は, BackgroundまたはObjective, Material and Methods, Results, Conclusionの見出しをつけて構造化する。研究過程で生じた問題点, どのような方法で研究が遂行されたか, 明白な結果, その結果から引き出される結論について簡潔に, そして順序正しく記載する。
- ・Keywords: 索引用語と同じく5語程度。
- ・脚注として所属所在地を英文で記す。

(6) 表, 図, 写真および Legend

- ・表, 図および写真を1点につき1ページごとに分け, 本文出現順に番号を記載する。
- ・Legend (説明) を含め, すべて英語表記とする。
- ・表中に abbreviation (省略語) がある場合は, 一般的な省略語 (MRI, CT など) を除き, legendの後に, 「TAI: transcatheter arterial infusion」などと記載する。統計学用語は p, SD, SE とする。
- ・パソコンで作成して作成データとプリントを提出, もしくは紙焼写真などの印刷に耐えうるクオリティの紙原稿で提出する。印刷の際縮小するので, 作成するときに考慮する。
- ・それぞれの図表および写真の挿入位置を原稿本文の右余白に朱書きする。
- ・カラー原稿の場合は, 印刷をモノクロにするかカラー

にするか指示を入れる。

表 (Table)

- ・簡潔なタイトルを表の上に、legendを表の下に付記する。表中に縦罫線、斜罫線は用いない。表の上下には横罫線を入れる。
- ・%等の単位は見出しの項目に () で表記し、対象数字個々には記載しない。

図 (Fig./Illust.) および写真 (Photo)

- ・図および写真を1枚ずつ分ける。紙焼写真の場合は、写真裏面に著者名・上下・図の番号を記入し、別紙にLegendを英文で付記する。パソコンで作成しプリンター出力する場合は、legendは図・写真と同じページでもよい。組織細胞写真は、染色の種類、倍率を記載する。

VIII. 英文論文投稿規定

投稿前に医学専門 Editor による校閲が行われていること。著者は当該 Editor の氏名・連絡先を記載、できれば校閲証明書を投稿原稿に添えて提出する。ただし、校閲の内容が発表論文として不十分と判断された場合は、原稿の訂正を求める場合がある。訂正原稿が提出された後、編集委員会で決定された2人の査読者によって審査・査読される。

1) 一般的注意

全般的原稿様式は和文論文投稿規定に準じる。A4用紙に行間はダブルスペースで、両端余白を十分にとって半角英数文字で作成する。単語間・セミコロン後はシングルスペース、ピリオド・コロン後はダブルスペースとする。

2) 原稿様式の詳細

下記の項目・順番でページを分けて作成する。

(1) Title, Author, Affiliation, Running title, Corresponding Author

和文論文規定『2)-(1) タイトル, 著者名, 所属名, ランニングタイトル, Corresponding Author』の項および『(5) 英文アブストラクト』の項 (一部) 参照。Running title は5語以内とする。

(2) Abstract

和文論文規定『2)-(5) 英文アブストラクト』の項を参照。

(3) 本文

和文論文規定『2)-(3) 本文』の項を参照。Introduction, Material and Methods, Results, Conclusion と分け、Introduction 以外は見出しをつける。

(4) References

和文論文規定『2)-(4) 文献』の項を参照。和文誌を参照する場合、誌名は原則としてローマ字表記とし、末尾には (J) を入れる。Reference の最後に「(J): in Japanese」と表記する。正式な欧文誌名のないものは、欧訳誌名を付けてはならない。

記載例

- 1) Nukiwa T: Overview of gene transfer in the area of respiratory disease. *Nippon Rinsho* 63 (suppl 12): 598-606, 2005 (J)

(J): in Japanese

(5) 和文要約

和文論文規定『2)-(1) タイトル, 著者名, 所属名, ランニングタイトル, Corresponding Author』の項および『(2) 要約および索引用語』の項を参照。英文 Abstract と対応するように作成する。

(6) Table, Figure/Illustration, Photo

和文論文規定『2)-(6) 表 (Table), 図 (Fig./Illust.), 写真 (Photo)』の項を参照。

問い合わせ・原稿届先:

〒143-8540 東京都大田区大森西 5-21-16
東邦大学医学メディアセンター内 東邦大学医学会
Tel: 03-3762-4151 (ex. 2465) Fax: 03-3762-5077
e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

東邦医学会雑誌編集委員会